



2020年

古賀市民

クリスマスマーケット

報告

# 古賀市民クリスマスマーケット 目的

新型コロナウイルス感染拡大の中  
企業や市民に元気を取り戻してもらおう一つ  
JR古賀駅西口商店街のにぎわい  
起業する方のチャレンジショップ提供、企業アピール等

# 古賀市民クリスマスマーケット 実行委員会を立ち上げる

一般社団法人こがみらい 代表理事 魚谷千代子

マルクル株式会社 代表取締役 本田哲也

スタッフ 梅田昌太郎 立川順一

有限会社クイーンズホーム 中園よし恵

ライオン不動産 代表 谷口俊介

古賀すたいる 金子美聡

コンサルタント 河野真治

デザイナー 太野あや

クリエイトスペースミラコ 学生代表 田中志祈

# 実行委員会始動



チラシ配布準備

**クリスマスマーケットシンボルを決定！  
ハートのオブジェ 株式会社ナダヨシ様に発注・協賛！**



# 市のまちづくり推進課とコラボ開催

まちづくり推進課 国際交流・多文化共生係  
台湾留学生の歌発表・市民交流



# チャレンジショップの開催・支援事業







# 出店者 7名内初出店2名

## 出店者の感想

- ・これから副業として考えていて初めてのチャレンジでした。ドキドキでしたが、いろいろなお客様と直接話せて勉強になりました。
- ・事業所としてこれから起業したいと考えています。
- ・市民の皆様に喜んでいただけたようで、出店してよかった。

\* 今回は、密にならないように配慮しながらの取組で少ない出店となりましたが、イルミネーションと一緒に楽しんでいただけたようです。これからも起業支援の一環として取組んでいきたいと思えます。

# 新聞掲載

## 古賀クリスマスマーケット コロナに負けず 街ににぎわいを 24、25日 /福岡

毎日新聞 2020年12月17日 地方版

前

一覧

次

マイニュース



「貴重な文化財を多くに知ってほしい」と、報告書にまとめる

さん話す。

「貴重な文化財を多くに知ってほしい」と、報告書にまとめる

も コロナ禍の街に明かりをともそうと、学生たちがデザインしたクリスマスイルミネーションが古賀市のJR古賀駅西口広場周辺を彩っている。25日まで毎日午後5時〜10時に点灯。24、25日には同広場でホットドリンクや雑貨などを販売するクリスマスマーケットを

たちが手作りしたランタンなどで公園を彩り、スクリーンに絵本を映し出した。温かい飲み物と冬至で使うユズが配られ、子どもたちはいすや遊具に思い思いに座った。

ほのかな明かりが照らす夕暮れの公園で、子どもたちは「おおきいサンタとちいさいサンタ」など3作品の朗読に耳を傾けた。

(今井知可子)

JR古賀駅周辺でマーケットを開催 24、25日

地域活性化に取り組み一般社団法人「こがみらい」を中心に市民実行委員会が主催。麻生建築&デザイン専門学校(福岡市)の学生グループが同広場から商店街にかけてイルミネーション案を考えた。

広場に設置された高さ2.2mのステンレス製のハート型オブジェに写真には、同市の板金加工会社「ナダヨシ」の特製品で、家族や友人との記念撮影スポットとして人気を集めている。

(今井知可子)

開く。

「こがみらい」

一般社団法人「こがみらい」

を中心に市民実行委員会が

主催。麻生建築&デザイン

専門学校(福岡市)の学生

グループが同広場から商店

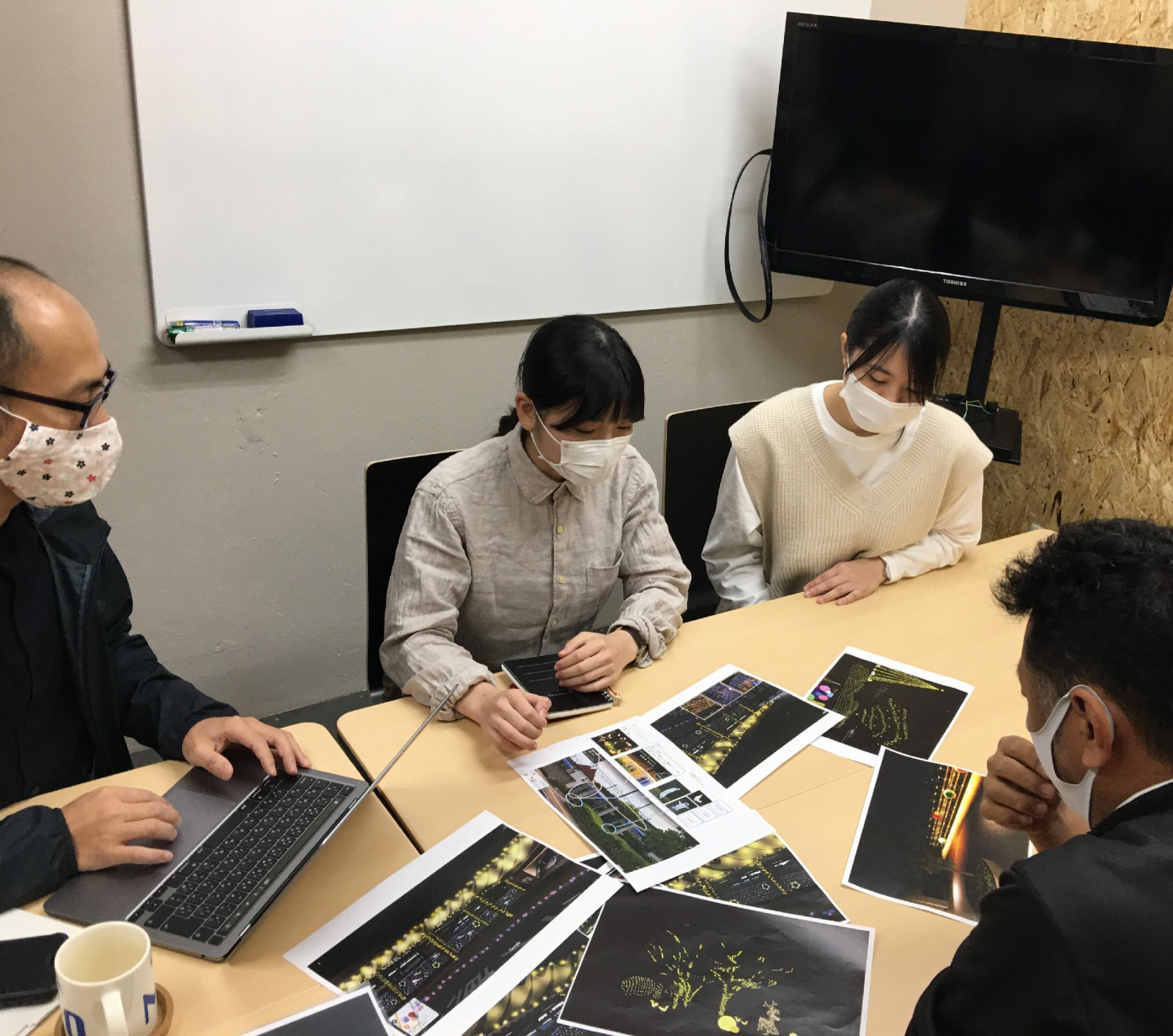


# 麻生建築 & デザイン専門学 校

全面協力



# 麻生建築&デザイン専門学校 生徒による



イルミネーションのデザインとイルミネーション選定

# 12月5日～25日 多くの市民に楽しんでいただきました！



毎日、たくさんの方が写真を撮る姿。  
学生がハートからニコニコ笑顔



たくさんのうれしい感想をいただきました。  
写真を撮っていただく姿にも委員一同感激

きれーやね。古賀駅が明るくなってイイねー。とベンチに座ってみる姿。

博多のイルミネーションよりよかった。



# 公募型補助金申請の動機として

古賀駅西口エリアの賑わいの一つとして多くの人と協賛できるように。

公の取組として、今後継続していくため、実行委員会を立ち上げ、市とともに取組むものとしていきたい。

補助金で次へのステップへの勢いにつなげていきたいため。

# 公募しての感想

- 申請用紙記入など、難しい点がたくさんあったが、担当課がとても親切に説明等をしていただき助かった。
- もう少し、簡易だとさらに申請しやすいと感じた。
- プレゼンテーションについては、いろんな方に知っていただくことは有難い機会だと感じた。また、足りないところなどもわかることが出来て今後の活動に役立った。
- 最後の報告については、収支等などかなり難しいところもありここでみんな申請が億劫になっていると実感した。
- 今後、自走していけるようにと思うが、公のものが含まれているものについては、やはり一緒に取組んでいっていただくことが、持続可能となると思われた。(資金の面だけでなく、広報や周知等含)

# 2021へ向けて みんなでひとつに！

